

2025 年 11 月 27 日
公益社団法人日本アドバイザーズ協会
デジタルマーケティング研究機構

第 13 回 Web グランプリ Web 人部門 受賞者発表

公益社団法人日本アドバイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構（所在地：東京都中央区銀座 代表幹事：中村 俊之）は、第 13 回 Web グランプリ（<https://award.dmi.jaa.or.jp/>）の「Web 人部門」において、Web 人賞の受賞者を決定いたしました。

「Web 人賞」は、有識者で構成される Web 人賞選考委員会による審査会、及びデジタルマーケティング研究機構 幹事会で審議の結果、次の方々に贈賞いたします。

【Web 人賞】（氏名 50 音順）

岡崎 路易 氏	（株式会社大丸松坂屋百貨店）
織田友理子氏	（認定 NPO 法人ウィーログ）
鎌田 義之 氏	（一般社団法人企業研究会）
川延 浩彰 氏	（Figma Japan 株式会社）
野見山修一氏	（宮崎県都城市）
山田 陸 氏	（株式会社サイバーエージェント/株式会社 AbemaTV）

Web 人部門は、「人」にフォーカスした賞として、優れたウェブサイト、ウェブプロモーションにとどまらず、広くデジタルを活用したマーケティング、コミュニケーションなどの原動力となった人物にフォーカスをあて、その方の功績を讃えて表彰しており、前身となる「Web クリエーション・アワード」（2003 年～2012 年）から毎年開催しています。

昨年までの受賞者はこちらからご覧いただけます。

<https://award.dmi.jaa.or.jp/winner/>

【お問合せ先】

公益社団法人日本アドバイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構 Web グランプリ事務局

受付時間：10：00～17：00＜平日のみ＞ TEL：03-3543-5855

e-mail：award-info@dmj.jaa.or.jp

お問合せフォーム：<https://award.dmi.jaa.or.jp/inquiries>

第 13 回 Web グランプリ Web 人部門 受賞者一覧

【Web 人賞】（氏名 50 音順）

岡崎 路易 氏

（株式会社大丸松坂屋百貨店

デジタル戦略推進室 DX 推進部部長）

岡崎氏は、伝統的な百貨店に身を置きながら、DX 推進部部長の肩書きでメタバース事業、インフルエンサー事業、VTuber 事業などの新規事業を次々に立ち上げました。新規事業として単に流行り物に飛びついたのではなく、メタバースのアバターを百貨店の事業として実際に販売するなどの実績を上げており、本業の売り上げにも貢献しています。また、同社の YouTube や TikTok アカウントの運営などで動画活用の試行錯誤の経験などから、海外でも口コミを巻き起こすなど、幅広い活躍をしており、贈賞に相応しいと考えます。



織田 友理子 氏

（認定 NPO 法人ウィーログ 代表理事）

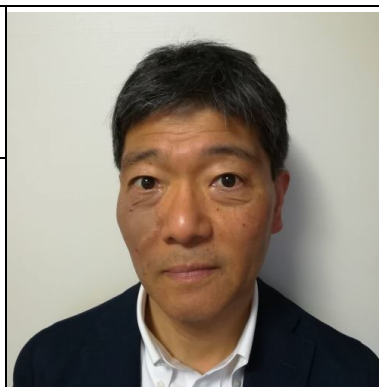
織田氏は、自らの車椅子ユーザーとしての経験をもとに、バリアフリーマップアプリ「WheelLog!」を開発し、車椅子ユーザーや高齢者、ベビーカーユーザーなど、「誰もが使える地図情報」の提供を進められています。アプリの活動にとどまらず、各地での車椅子街歩きイベントを通じて、当事者・地域・行政が協働でまちのアクセシビリティを考える機会を創出。さらに、行政や公共施設に対して現地調査や政策提言を行い、アクセシビリティ向上の実践にも取り組んでいます。こうした公共性と革新性を兼ね備えたその取り組みは、贈賞に相応しいと考えています。



鎌田 義之 氏

（一般社団法人企業研究会）

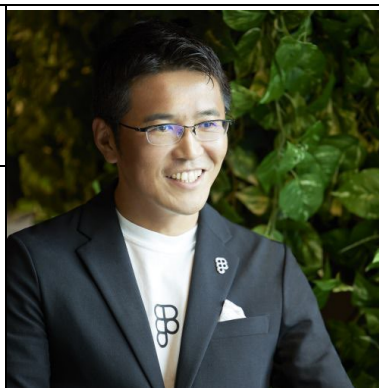
鎌田氏は、企業研究会にて初のウェブ専門勉強会（Web マネジメントフォーラム）を立ちあげ、20 年以上の長きに渡り先導されました。延べ数百社に及ぶ企業ウェブ担当者の育成と相互コミュニケーション・コミュニティに貢献した功績は称賛に値します。



川延 浩彰 氏

(Figma Japan 株式会社 カントリーマネージャー)

Figma はデザインを作るツールとして利用されていましたが、デザイナーがデザインを作って共有・協業するだけでなく、そこから HTML/CSS の生成や他システムへの実装にまで落とし込む仕組みを備えたプロダクト開発プラットフォームへと進化しており、ウェブ制作におけるフロントエンドのあり方を変えたこと、それを推進してきた川延氏は称賛に値します。



野見山 修一 氏

(宮崎県都城市 ふるさと納税課 課長)

野見山氏は、宮崎県都城市のふるさと納税の生き字引的存在。役人らしからぬチャレンジ精神で、民間の力を取り入れたふるさと納税の仕組み作りを推進。担当した都城市のふるさと納税サイトは、寄附受入額において、全国で唯一 11 年連続トップ 10 入り、2022 年・2023 年の 2 年連続を含めこれまで 5 度の全国トップとなり、多くの市町村が参考にするふるさと納税サイトにまで育てたことは贈賞に値します。

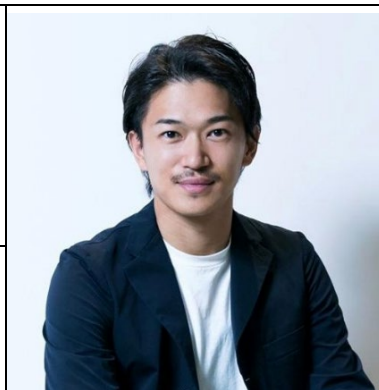


山田 陸 氏

(株式会社サイバーエージェント 常務執行役員/

株式会社 AbemaTV ビジネスディベロップメント本部 VP)

山田氏は、「新しい未来のテレビ」を標榜する ABEMA において、「新しい未来の広告」の姿を模索しつづけ、そしてそれを実現してきました。特に、開発から運用まで内製でおこなっている ABEMA ならではの広告やタイアップには今後の広告主とメディアの新しい関係性に向けて可能性を感じることであり、今年の Web 人賞に相応しいと考えます。



Web グランプリとは

Web グランプリとは、デジタル社会の発展に貢献してきた「人」と「サイト」を表彰するために設立されました。

過去 12 回開催し、これまで多くの「Web 人（ウェブジン）」を輩出してきた Web クリエーション・アワード（Web 広告研究会主催）と、過去 6 回開催し日本の企業ウェブサイトの発展に寄与してきた企業ウェブ・グランプリ（企業ウェブ・グランプリ主催）を統合し、2013 年を第 1 回として開催し、以後、毎年開催しています。

インターネットがすみずみまで行き渡った現在、ウェブサイトは社会にとって欠かすことのできないメディアになりました。特に、ソーシャルネットワークが大きな影響力を持つ昨今では、さまざまな情報のソースとしてもウェブサイトの重要性がいっそう高まっており、多くの方々がその運営に地道な努力を捧げています。

この「Web グランプリ」は、ウェブサイトの健全な発展をめざすとともに、【ウェブ関係者のウェブ関係者によるウェブ関係者のための賞】として優れた功績を残した企業及び人物を顕彰し、その労と成果を讃えることを趣旨としています。

表彰部門は大きく 2 つ「Web 人部門」と「企業グランプリ部門」に分かれています。

「Web 人部門」はこれまでの Web クリエーション・アワードに相当し、ウェブ社会の発展に貢献してきた「人」に授与されます。「企業グランプリ部門」はこれまでの企業ウェブ・グランプリに相当し、各企業のウェブ担当者同士の研鑽により制作・構築された、見本とすべき「ウェブサイト」に授与されます。

「Web 人部門」はこれまでの Web クリエーション・アワードに相当し、ウェブ社会の発展に貢献してきた「人」に授与されます。「企業グランプリ部門」はこれまでの企業ウェブ・グランプリに相当し、各企業のウェブ担当者同士の研鑽により制作・構築された、見本とすべき「ウェブサイト」に授与されます。

【Web 人賞選考委員会 選考委員】

今田 素子 2013 年 Web 人賞受賞

（株式会社メディアジーン代表取締役 CEO）

徳力 基彦 2007 年 Web 人賞受賞

（note プロデューサー／ブロガー）

長谷川 敦士 2012 年 Web 人賞受賞

（株式会社コンセント 代表取締役社長）

平田 大治 2004 年 Web 人賞受賞

（シックス・アパート株式会社 代表取締役 CEO & CTO）

安田 英久 2010 年 Web 人賞受賞

（株式会社インプレス Web 担当者 Forum 編集統括）

【Web グランプリプロジェクト 運営メンバー】

◇Web グランプリプロジェクトリーダー

新井 隆之（岩崎電気株式会社、デジタルマーケティング研究機構 幹事）

◇Web グランプリプロジェクト プロジェクトメンバー

西田 健（キヤノンマーケティングジャパン株式会社、デジタルマーケティング研究機構 副代表幹事）



デジタルマーケティング研究機構について

日本アドバタイザーズ協会 デジタルマーケティング研究機構 (Digital Marketing Institute) は、1999 年 4 月 1 日、社団法人日本広告主協会(現:日本アドバタイザーズ協会)デジタルメディア委員会内の研究会を母体として発足しました(発足時名称:Web 広告研究会)。

業界の枠を超えてウェブ広告・マーケティングに取り組む全てのプレイヤーによる研究活動を行う場として、インターネット上の広告展開における、さまざまな課題について、広告主と関連企業・団体(広告会社、メディアレップ、媒体社、調査会社、システム提供会社など)が共通の場で研究活動を行うことにより、インターネット上の広告の健全な発展を促進することを目的としています。

定期的なフォーラム・セミナーの開催のほか、各種広告手法の効果実証実験、企業サイトのプロデュースの研究とその評価、個人情報保護問題への取り組み、ブロードバンド・モバイル環境の研究、生活者のメディア接触変化の研究などの幅広い活動を 10 の委員会と 5 つのプロジェクトで行っております。

◆代表幹事 中村 俊之 (株式会社ポーラ)

◆事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座 3-10-7 ヒューリック銀座三丁目ビル 8 階

◆ホームページ <https://dmi.jaa.or.jp>